



2019年11月8日

各 位

会社名 石原産業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 田中健一  
 コード番号 4028 東証第一部  
 問合せ先 取締役財務本部長 川添泰伸  
 (TEL. 06-6444-1850)

第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年8月9日に公表しました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月10日に公表しました通期業績予想について、下記の通り修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期連結累計期間予想数値との差異(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,000	2,100	1,700	800	20.01
今回実績(B)	52,006	2,699	1,824	469	11.73
増減額(B-A)	△993	599	124	△330	
増減率(%)	△1.9	28.6	7.3	△41.4	
(ご参考)前期第2四半期累計期間実績	52,232	4,580	4,981	3,935	98.46

2. 2020年3月期通期業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	110,000	8,400	8,100	6,300	157.63
今回修正予想(B)	102,000	5,500	4,600	2,300	57.55
増減額(B-A)	△8,000	△2,900	△3,500	△4,000	
増減率(%)	△7.3	△34.5	△43.2	△63.5	
(ご参考)前期(2019年3月期)実績	106,441	11,372	11,144	8,683	217.25

## (2) 個別業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 87,000	百万円 4,600	百万円 4,500	百万円 3,500	円 銭 87.57
今回修正予想(B)	80,000	3,800	3,400	2,700	67.56
増減額(B-A)	△7,000	△800	△1,100	△800	
増減率(%)	△8.0	△17.4	△24.4	△22.9	
(ご参考)前期(2019年3月期)実績	82,191	8,639	9,115	7,744	193.76

## 3. 差異及び修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、2019年8月9日に公表しました前回発表予想に対して、売上高は概ね前回予想並みとなりましたが、利益については、研究開発費の支出時期の一部見直しなどにより営業利益は前回予想を上回る増益となる一方、為替差損の拡大などにより増益幅が縮小するなどで経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は上記の通りとなりました。

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の実績や第3四半期以降の事業環境の動向を踏まえて、2019年5月10日に公表しました前回発表予想数値(連結・個別)を上記の通り減額修正いたします。

個別業績については、有機化学事業では、世界的な異常気象の影響を受けながらも、主力農薬の業績は概ね前回予想通りとなる見込みですが、無機化学事業では、年度初めから酸化チタンの海外需要が振るわず、当面本格的な需要回復が見通しづらいこと、また業績予想の前提となる第3四半期以降の主要通貨の為替レートを見直したこと(米ドルは前回予想の110円から108円、ユーロは125円から118円へ変更)などにより予想数値を減額修正いたします。

連結業績については、個別業績の修正理由に加えて、子会社では、電子部品向け販売が関連業界の需要落ち込みの影響を受け減収減益となること、また農薬製品の内部取引に含まれる未実現利益の調整が前回予想から悪化が見込まれることなどにより、個別業績と比べ予想数値の減額修正幅が拡大する見通しです。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上